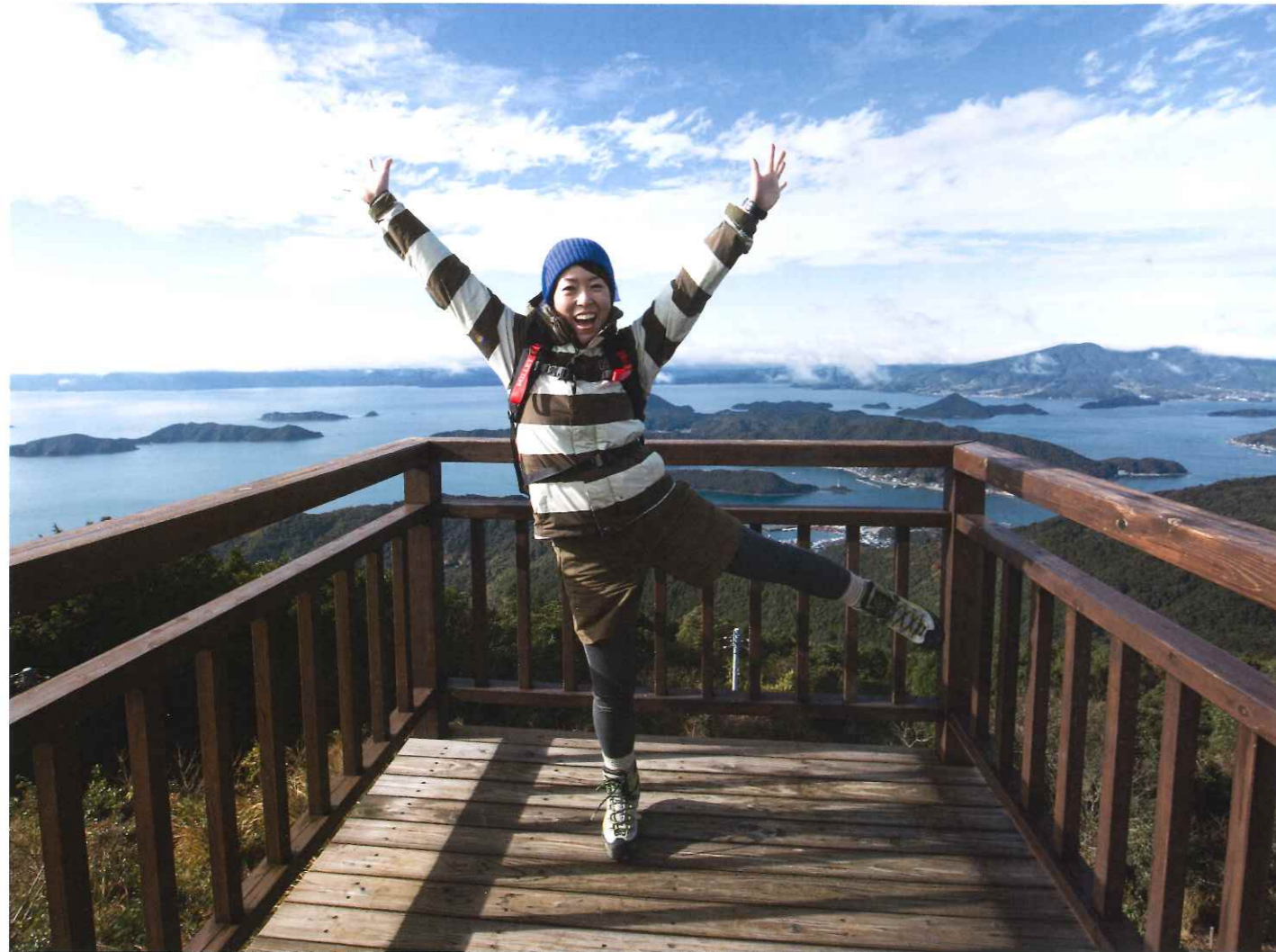


天草市 からす とうげ
御所浦(鳥峠)コース



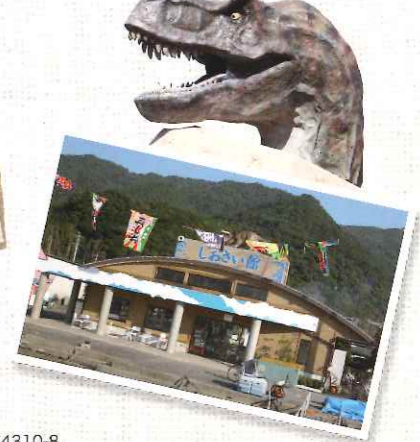
①眼下は御所浦東海岸、対岸は芦北 ②③化石採集場で化石探し 白亜紀資料館でハンマーを借りよう(200円) ④海上タクシーもしくは定期船・フェリーを使って島へ上陸 ⑤牧島にあるニガキ化石公園 ⑥ツメレンゲ。希少な蝶「クロツバメシジミ」がこの植物に卵を産みつける

八代海に浮かぶ御所浦は、大小18の島々からなる熊本県唯一の離島の町。恐竜の化石も多く発見されており、「恐竜の島」として国内外に広く知られ、ジオパークにも認定されている。そんな御所浦島の最高峰、鳥峠(標高442m)を目指す旅も面白い。山の頂上までは、舗装された林道を登り、海がよくみえるようになったら頂上はもう少し! 山頂一帯は広い公園になっていて展望台もあり、360度海を望むという島の山ならではの絶景に思わず言葉を失い見とれてしまう。雲の切れ間から無数の光線が、島々が散らばる静かな箱庭のような内海に模様を描き、飽きることはない。帰りは、往路を下り港の前にある御所浦白亜紀資料館に立ち寄りてみたい。また、資料館から歩いてすぐの化石採集場では、貝などの化石を含んでいる岩石がとても多く、思わず熱中してしまうはず!

**海を渡り、山を目指し、大地にふれ、太古を知る
旅情溢れる多島海の島旅**



島のお母さん“サコミさん”が作る“恐竜だご”。白あんといちじんの2種類あり、特に自家製のグリーンピースとソラマメを使った白がおすすめ。



おすすめスイーツ
御所浦物産館 じおさい館

御所浦島のお隣、牧島に伝わる名物おやつ。もち米にヨモギを練りこんだ生地で手作りの餡を包んだ“だご”は、しみじみと優しい味わい。あごうの葉で包まれた見た目もユニーク! 観光案内所も兼ねた物産館「じおさい館」にて販売中。

牧島恐竜だご1個100円〜 ※2日前まで要予約

☎0969-67-1234
〒天草市御所浦町御所浦4310-8
画8:30~18:00 画1/1のみ 画5台
URL <http://hp.amakusa-web.jp/a0368/MyHp/Pub/>
御所浦港フェリー乗り場から徒歩1分



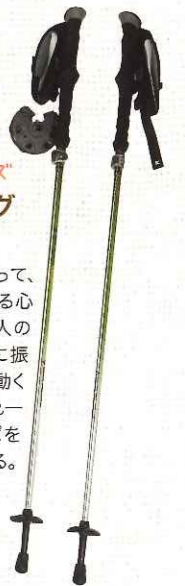
おすすめ宿泊先
HOTEL シーガル亭

海に面した小高い丘に建つリゾートホテル。すべてオーシャンビューの客室、島影にゆっくりと沈む夕陽を眺めながらの海鮮バーベキューは最高! 御所浦を知り尽くしたオーナーご夫妻のアットホームなおもてなしも、人気の秘訣だそう。

☎0969-67-2929
〒天草市御所浦町御所浦3130-2
画IN15:00/OUT10:00
画不定(バーベキューは5~9月限定、要予約)
画5台画1泊2食付き6,825円〜
URL <http://www.goshoura.net/kanko/stay/seagull.html>
御所浦港フェリー乗り場から徒歩20分

おすすめグッズ
トレッキングポール

4本目の足となって、体を支えてくれる心強いアイテム。人の体は腕を前後に振ると自然に足も動く構造だから、これ一つで歩くテンポをつかみやすくなる。



押さえておきたいスポット



御所浦白亜紀資料館
観覧料: 大人200円、時間: 8:30~17:00(月曜休館)
港のすぐ前にある御所浦白亜紀資料館。3階建てで、出土した日本最大級の肉食恐竜の歯化石や、ほ乳類の化石をはじめとしてさまざまな化石が展示しており、見て触れて楽しめる。



①②林道を抜けると、海と島々の景色が広がる ③産湯の池は神功皇后が産湯に使ったとされ、安産子宝にご利益があるという ④小さな富士山にも似た島は「天草富士」とも呼ばれる ⑤島へ渡る船は地元の方が用意。料金(往復)大人1,000円、子供以下500円 ☎0969-78-0670(担当:上口)

産島は、天草下島の八代海側に浮かぶ外周約5kmの小さな無人島。端正な島の形から、別名「天草富士」とも呼ばれていて、対岸の上平港へ大漁旗をなびかせた船がご神体を運ぶ祭りでも有名な島だ。上平港から渡し船に乗り、約5分で島へ上陸。そこから山頂直下までは林道を辿っていく、往復約1時間半のコース。気分はまるで無人島に上陸した探検者！ うっそうとした森から登るにつれ、青い海が見えてくると思わず気分もあがっていく。頂上へ登ると、東側の視界が開け、青く静かな八代海の向こうに田浦や芦北のビーチが見えてくる。天気の良い日には、遠くに霧島の山々も望むことができる。また、島にはキャンプ場があり、トイレ、炊事施設、宿泊可能なバンガローも完備。天然の砂浜で海水浴、食料調達に釣りをするなど、いろんな遊びができるのも魅力。電気や飲料可能な水道は島には無いから、飲み水は事前に必ず用意していこう。

青い海に浮かぶ無人島 信仰の島を歩く癒しのトレッキング



※写真は4棟ある貸切湯の1つ

おすすめ温泉
天草市総合交流施設
天然温泉 愛夢里
南ヨーロッパの教会をイメージした明るいオレンジの屋根、スペイン風のステンドグラスが素敵な温泉館。渦巻状のジェットバス「舞湯」を備えた洋風と和風を男女日替わりで楽しめる大浴場&ゆったりくつろげる宿泊コテージが好評♪

クキコミ情報

まるでヨーロッパの小さな村に迷い込んだようなルックス、しっとり肌になじむお湯が気に入る♡

☎0969-76-1526
〒天草市河浦町河浦4747-1
開10:00~21:00 毎第1月曜(祝日の場合は翌日) 回80台
URL <http://www.amuri-onsen.com/amuri.html>
国道266号経由、本渡市から車で30分
回宿泊5,150円~/大浴場500円(小・中学生200円)/貸切風呂:1,000円(60分、別途入館料必要)
泉質:ナトリウム炭酸水素塩泉/源泉温度:38度/効能:神経痛・疲労回復・切り傷/源泉掛流し:○(一部)/自家源泉:○/加水:x/加温:○

クキコミ情報

あっさりスープが嬉しいチャンポンは、ほとんどの人が注文する人気NO.1メニュー。



おすすめメニュー

あまりチャンポン 630円

湯上りグルメには、料理長自慢の具沢山チャンポンをどうぞ。シャキシャキのキャベツや甘みのあるニンジンなど、地元で採れた新鮮野菜がどっさり載ったボリューム満点の一杯に大満足！ 女子に嬉しい「ハーフチャンポン」400円も。



杉ようかん 1個150円

おすすめスイーツ
南風屋

「天草謹製」ブランドの名物「杉ようかん」は、午前中に売り切れるほどの人気モノ。しっとり食感のお餅で餡を包み、杉の葉を添えたオリジナル리티あふれる逸品。添加物や保存料を使用しないため、賞味期限は1日限りとしア度満点！

クキコミ情報

鮮やかなピンク色は、なんとドラゴンフルーツ由来だとか。ほんのり塩気のきいた自家製あんもたまります。

☎0969-79-0858
〒天草市河浦町崎津454
開8:30~12:00(売切れ次第終了)
毎年未年始のみ
(12月末~2月中旬は杉ようかんの販売なし)
座5席 回なし(近隣に無料共同Pあり)
国道266号経由、崎津教会から徒歩1分
限りとしア度満点！



おすすめグッズ
バックタオル

コンパクトで速乾、吸水機能に優れたマイクロファイバーのタオル。水を絞るだけで吸水力がかなり回復する優れもの。山登りには1枚持っておきたい。



押さえておきたいスポット



海を渡る祭礼
大漁旗を掲げた十数隻の船を伴った御神体が海を渡る様は壮観。船上で華やかな衣装を着た子供達の踊りや獅子舞も見もの。



産島八幡宮
毎年10月の第4土日に「産島八幡宮大祭」が行われる。ご神体が海を渡るという珍しい祭礼だ。遠方からの参拝者も多い。



たいへん珍しい白い岩に囲まれた“白岩崎”を散策



①③灯台のある四季咲き公園には、様々な花が季節ごとに咲いていて南国気分一杯 ②朱色が鮮やかな鳥居をくぐる ④富岡城の全景も望める ⑤四季咲き公園のランドマーク、白い灯台 ⑥コース途中の砂浜歩き。きめ細かい砂質のビーチは、海水の透明度も抜群。ついつい貝殻などビーチコーミングに夢中になってしまおう

富岡半島は草灘にぽっかりとつきでた島が砂州によって陸地へとつながった独特の場所。ここをほぼ1周する形で散策ルートは設けられている。トレイルは神社を抜けてから、丘の上の復元された白いお城に立ち寄り田園地帯を抜け、公園の先、半島先端にある灯台へと向かっていく。灯台からは海岸線を通り、磯辺や富岡の街中を歩き、スタート地点の富岡港に戻っていく。終始青い海の中に囲まれたようなココの地形独特の雰囲気と、潮の匂いを感じながら歩くのは爽快！ 浜は草灘陶石（白磁の原料）を含んだ岩や転がる様々な石たちが、所々に白い景観を作り出し、どこかファンタジーの世界に迷い込んだ様な感覚におちいる。また運がよければ、海ではイルカに会えるチャンスもあり！ 山歩きが好きな人も、ここを歩けば海辺歩きの楽しみを再認識するはず。暖かい日はザックにビーチサンダルも入れていこう。

遠くに水平線を眺めながら、散歩気分で歩きたい、海と触れ合えるシーサイドトレイル



おすすめスイーツ 黒瀬製菓舗

創業100年以上続く、老舗の和菓子店。現在は7代目社長と8代目が力を合わせて伝統の味を守っている。1番人気の“柿大将”からカステラ、どら焼きなど50種以上と品揃えも豊富。季節限定の和菓子や地元の特産品を使った新商品も登場。

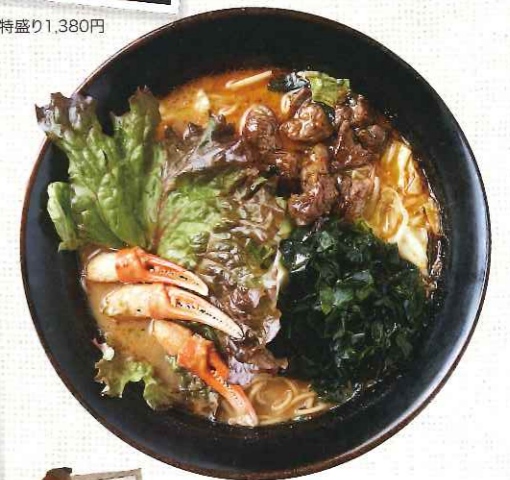
どら焼き200円
粒あん/白あん/抹茶クリーム/小倉クリーム/あおさ
季節限定:みかん/ホワイトチョコ/栗
☎0969-35-0119
〒天草郡茶臼山町富岡3243
☎8:00~19:00 休第1・3木曜 日10台
URL <http://www1.bbq.jp/kuroseseikaho/>
アクセス324号線を富岡港方面に進み、左手に見える茶臼山高校の下(富岡中央通り)

どら焼きはあんまりしっして、種類も多く飽きません。柿大将280円は高級感があり贈り物にも重宝します。干し柿の中に黄身が入っているのが珍しい!

おすすめのグルメ!! 味千ラーメン茶臼山

味千ラーメンのチェーン店なのに、店内中央にケーキのショーケースが並ぶ珍しい一軒。奥にはいけすもあり、刺身やたこめしなども楽しめる。ラーメンは味噌ベースのスープに炒めた野菜とわかめをたっぷりのせたオリジナル!

お刺身 特盛り1,380円



ラーメン店なのに新鮮な刺身と手作りケーキが楽しめるから、どの世代にも嬉しい。レディースセットもあり、手頃な価格でボリューム満点なのも魅力です!

☎0969-37-1043
〒天草郡茶臼山町坂瀬川12777-1
☎11:00~21:00 休木曜 50席(+宴会場もあり) 日20台
324号線を富岡港方面に進み、坂瀬川郵便局が見えて車で1分

おすすめ温泉 茶臼山温泉センター 麟泉の湯

茶臼山町を見下ろす高台にある温泉施設。男女別の内湯のみだが、窓から見える草灘の眺めは絶景。気泡風呂や浮き風呂など種類も豊富で、体を包み込むような肌触りの良い泉質も魅力。かり湯には源泉を使用しているから飲泉もOK!



☎0969-35-3770 〒天草郡茶臼山町志岐1281
☎10:00~21:00 休第1・3水曜(祝日の場合は翌日) 日120台
URL <http://www.reihoku-kumamoto.jp/facilities/facilities4.htm>
国道324号線を富岡港方面へ進み、はまゆう療養園前を左折。直進してすぐの右手
大人浴場500円(小・中学生250円)/貸切風呂:500円(60分、別途入館料必要)

湯につかりながらの眺めが格別です。窓から見える夕陽もいいが、レタス栽培時期の夜景は特にオススメです! 温泉が買える自動販売機もあります。

route map

所要時間 約4時間
※推奨ルート



おすすめのグッズ ホールドチューブ

究極の手ぶらを実現してくれるチューブ状のバッグ。ビヨーンと伸びるから携帯もすっきり収まる。トレッキングはもちろん、ランニングやフェスにも◎。



押さえておきたいスポット



熊本県富岡ビジターセンター

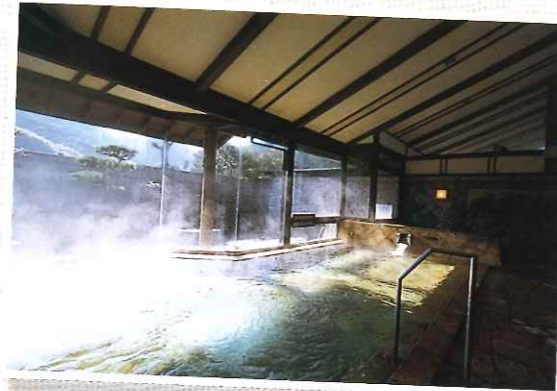
コース途中の富岡城は復元され『熊本県富岡ビジターセンター』となっている。地域の自然、文化、歴史について知ることが出来る。目の前を魚が泳いでいるような面白い映像を楽しめるコーナーは人気だ。入館無料で、毎週水曜が休館



①②林道のトレイルを抜けると宇土半島を眼下に見望む頂へ ③江戸時代につくられた上水道が、かつてここから宇土の城下町まで水を供給。現存する上水道としては日本最古の物になる ④水源前広場の池の一角でハートを発見! ⑤その昔、宇土藩主のお殿様が山頂にあるこの石に碁盤目を彫り込み、碁に興じたという遊目台

宇土半島の付け根に位置する白山(標高218m)。麓には、“日本の名水100選”にも選ばれた轟水源があり、どことなく幻想的で美しい木立に囲まれた泉よりこんこんと水が湧き出し、市民の憩いの場所にもなっている。まずここに立ち寄りて水筒を満たし歩き出すのもいい。この清らかな水を山頂で沸かしていただく一杯のお茶は、格別な一時をもたらしてくれるはず。頂上までは、市街地展望コースを歩くと30分。柑橘畑の中を登っていきと道が山道に替わる。そこからしばしば急勾配、頂上へはもう一息! 山頂一帯はゆるやかで広く、西方面を除き展望も開け、ベンチもあり、うららかな日射しの中お弁当を楽しむにはうってつけの場所。宇土市街を眼下に見下ろし、遠くにはきらめく有明海と金峰山、不知火海、阿蘇外輪山の眺望も素晴らしい。帰りは林の中をゆっくりと下っていく、自然観察コースを歩いてみよう。

麓に湧く名水を味わい、山頂まで気軽に登れる ピクニックに最適なコース



☎0964-24-3456
 宇土市網津町2283
 9:00~21:00
 (入浴は10:00~20:30、食事処は11:00~14:00)
 1・3月曜(12月31日、1月1日) 65台
 国道57号線JR住吉駅入口より車で5分
 大浴場400円(小学生以下300円、宇土市民は300円、小学生以下200円)
 泉質:アルカリ性単純泉/源泉温度:26度/効能:神経痛・関節痛・筋肉痛/源泉掛流し:○/自家源泉:○/加水:x/加温:○

ククコミ
情報

のんびりとした家庭的な雰囲気が心地よさ抜群の温泉施設です。食事処『九草』では、地元のお母さんが作る家庭料理が味わえ、“日替わり定食”は500円とリーズナブルな価格にびっくり!



ククコミ
情報

おすすめスイーツ
菓子工房 リトルハウス
宇土を代表する「うとおみや」に認定された“リトル・チーズ”(125円〜)。ステック状で食べやすく、しっとりとした濃厚なチーズが口の中でふわりと優しく広がる。プレーンやチョコ味のほか、いちご味などのバリエーションも豊富。

☎0964-23-4455 宇土市北段原町1-3
 10:30~19:00
 日曜 ※季節のイベント時は変更あり 3台
 JR宇土駅から国道297号線を宇土市街方面へ。本町6丁目の交差点を右折して500m

ククコミ
情報

ひとロサイズの見た目がかわいいお菓子は、お土産にも喜ばれますよ。1個70円(!)の“ミニシュー”(本〜土曜限定)は、ざっしりとクリームが詰まっています子どもたちのお気に入りです。



おすすめグッズ
ジェットボイル
お湯を煮くほど短時間で沸かすことができる便利な調理器具。頂上でのブレイクタイム時に◎。フィルターいらずのコーヒープックも合わせて持っていく。



大太鼓収蔵館
轟水源裏手にあり“雨乞い大太鼓”と呼ばれる地域のお祭りで使われる大太鼓が展示。叩いてみるとその音の迫力にびっくり



轟泉資料館
宇土細川家菩提寺跡は、現在は公園として整備され、轟泉水道の資料館にもなっているので、立ち寄ってみたい。

不知火 九勝之石コース



①林の中を登っていった最深部にある高さ約6mの九つのうち最大の群石 ②石組みだけが残り幽玄な趣ある蕉夢庵跡地 ③不知火町はデコポン発祥の地 ④石の名の由来とは、九勝之石を訪れる時は、必ず鹿に出会うという意味

蕉夢庵は江戸時代の宇土藩主細川興文公が隠居後、俗世から逃れ暮らした庵。波静かな不知火海最深部の山裾の谷間の跡地には、今は石組みだけが残っている。当時一流の茶人でもあり歌人でもあった興文公は、庵のまわりに広がる風景を自然が作った大きな庭として愛でていたのだろう。さまざまな場所にもともと存在していた石に、彼によって銘がつけられ、それが“九勝之石”として残っている。石は谷間の小川の畔やデコポンなどのかんぎつ畑の合間に、また森の中を登っていった場所に点在する。名付けた茶人に想いを馳せ、一つ一つの石をつなぎ合わせながら歩いていくと、まるで自分が山水画の中に入り込んだ趣きもあり面白い。コースは起点の「道の駅 不知火」から、海沿いを松橋方面に向け少し歩いた所にある桂原集落から案内に従って左に川沿いを奥に進む。



茶人が愛した風景。 川の流れる音に、苔むした石に 風情を感じつつ静かな山里を歩いていく



おすすめ温泉
不知火温泉
『道の駅 不知火』に併設された温泉施設では、県内でも珍しい塩湯が楽しめる。湯上がりには肌がスベスベになり湯冷めしにくいと評判。不知火海を望む大浴場をはじめ、露天風呂や家族湯など種類も豊富。敷地内には物産館やレストランも。



ククコミ情報
なんととってもやっぱ塩湯！体が芯から温まり、リラックス効果抜群です！お風呂上がりには休憩室の大広間でゴロゴロするのが私の定番コース。至福のひと時です♪

☎0964-42-3300
〒宇城市不知火町永尾1910-1
開10:00~21:00(最終受付20:30)
休12月31日、1月1日(臨時休業あり) 回220台
URL <http://www.shiranuhi-spa.co.jp>
九州自動車道松橋ICより国道218号線、県道181号線、国道266号線を不知火町方面へ車で20分



泉質:ナトリウム、カルシウム、塩化物泉/源泉温度:35度/効能:切り傷、慢性皮膚病、関節痛/源泉掛流し:一部/自家源:○/加水:×/加温:○

おすすめのスイーツ

亜湖の木
しっかりと焼き上げ、パリパリとした焼き菓子のような食感が特徴の“ココロシュー”(140円)。注文後にその場でぎゅーと詰めてくれるカスタードクリームは重すぎない甘さで、存在感のある皮との相性が抜群!



ククコミ情報
オレンジ色のかわいい店内には、常時12種類以上のケーキや焼き菓子が並び、見ているだけでも幸せな気分になりますよ。ふわふわとしたとろける口当たりの“よっしーのたまご”(126円)は冷やして食べてもおいしいです。

☎0964-33-8880
〒宇城市松橋町久具320-5
開9:30~19:00
(日曜、祝日は~18:00)
休月曜 回10台
九州自動車道松橋ICより国道218号線を天草方面へ宇城市役所前

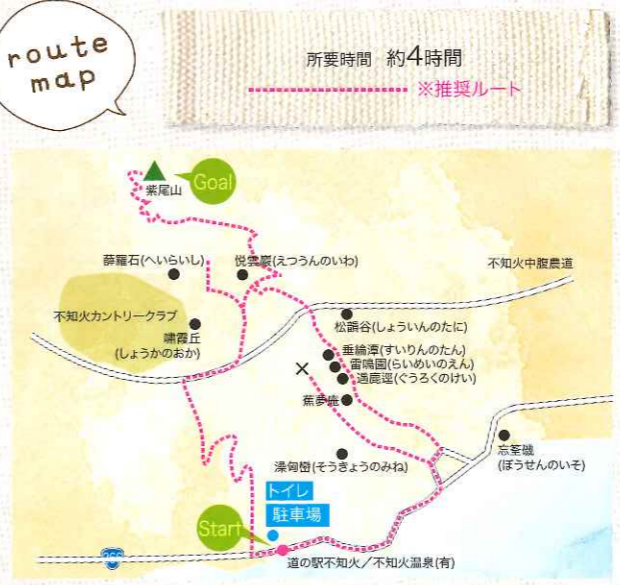
おすすめのグルメ

松橋厨房 金之助
おすすめは“日替わりランチ”800円。メインのほか、手作り小鉢2品とサラダ、みそ汁、茶碗蒸し、漬物、ご飯がつくボリューム満点の内容。ご飯のおかわりは自由。さらにコーヒーやジュースがフリードリンクというのも嬉しいポイント。



ククコミ情報
握りごたつタイプなのでゆっくりと食事が楽しめます。“煮込みハンバーグランチ”(880円)はじっくりと煮込んだデミグラスソース&トロロチーズの香りが食欲をそそる一品です!

☎0964-32-8577
〒宇城市松橋町大野137
開11:30~14:30(OS14:00)
17:30~24:00(OS23:00)
休なし(臨時休業あり) 回62席 回30台
URL <http://www.soseki1977.com/>
九州自動車道松橋ICより国道218号線を天草方面へ宇城市役所前



おすすめのグッズ

トレッキングアンブレラ
山は天気が変わりやすいから、1つ持っておきたい折り畳み傘。薄手のナイロン地に極めて高い撥水加工を施し、アウトドア使用に耐える高い強度を実現。



押さえておきたいスポット



松韻谷(しょういんのたに)
谷間右手の中腹、段々畑の中にある大きな岩、松韻谷。松風の音のひょうひょうたる谷という意味だ。実際に触ってみよう。

悦雲庵(えつうんのいわ)
松韻谷から山に向かって進んだ高台にある石。霧の中に立つこの岩の情景、もしくはここで流れる雲を見ていたのだろうか



①②うっそうとした自然林を通り、樹々に囲まれた三角岳山頂へ。山頂からは大矢野の維和島、遠くには金峰山が望める。長崎方面の眺望は木々の合間から少しだけ ③三角岳の頂きを望みながら、景色が開けた心地良い岩場の雲竜台 ④⑤三角岳の山頂には、祠や石像がいっぱい

宇土半島最先端に位置し、どっしりとした姿で海に向かい鎮座する三角岳(標高406m)。山頂までの往復約4時間のコースは自然林を抜け、展望の良い岩場に乗ったり、急登をよじ登ったりとバラエティー豊か。長く南北に伸びた稜線の南端に当たる“天翔台”からは、三角東港方面の眺望が良い。また山頂へ取り付く鞍部前の“雲竜台”という岩場からは、眼下に三角瀬戸に架かる天草1号橋を見下ろし、そこから続く天草諸島方面の山々も見渡せる。山頂は樹々に囲まれた山の神や石の像がある草原で、南側が少し開けている。帰りは往路を戻ると、雲竜台の下の鞍部から、道標に従って急斜面を三角西港方面に降りるルートもある。明治時代に築港された古い石造りの三角西港や文人・小泉八雲が愛した“浦島屋”などの建築物も復元され、賑わっていた当時に想いを馳せつつ散策したい。

岩場から眼下に見下ろす蒼い海
遠くにかすみ連なる天草の山々が美しい



おすすめスイーツ
吟将製菓(ぎんしょうせいか)
献上銘菓彩を受賞して明治神宮に奉獻された“肥後蔵まくら”(130円)は店の看板商品。歯ごたえのある風味豊かなつぶあんど、もちりとしつこも歯切れの良い求肥が織りなす贅沢な味わい。素材にこだわり、3日間かけて丁寧に作られる三角の銘菓を召し上がり(価格は取材時点でのものとなります)。
三角町をイメージして作られた“ムルドル通り”(150円)は、上品なアーモンドの香りにサクッとしっとりとした食感の絶品です。

クキコミ
情報

おすすめグルメ
CAFE GALLERY
LAFCADIO

文豪・小泉八雲の著書「夏の日の夢」に登場した『浦島屋』を復元した建物内のカフェ。三角町の『一心(いっしん)』珈琲で自家焙煎した珈琲や、オーナー手作りのカフェメニューを、明治初期のレトロな雰囲気にも包まれながら味わって。

☎0964-52-4865
〒宇城市三角町三角浦1120-13(三角西港「浦島屋」内)
☎9:00~22:00(OS21:00) 休火曜 60席 回50台
URL <http://www.facebook.com/cafe.gallery.lafcadio>
JR三角駅から国道57号線を宇土方面に車で6分



クキコミ
情報
2Fのテラス席から眺める有明海の景色は最高です！オーナーの愛蔵で作る“手作りケーキセット”(880円)は美味しい味わいでほろりとした気分になれますよ。



おすすめスイーツ
三角西港 珈琲屋 和蘭館(おらんだかん)
明治三大築港のひとつである三角西港に佇むカフェレストラン。海運倉庫として利用されていた土蔵造りの建物は当時の面影をそのまま残し、海に面したテラス席からの眺めは絶景。フード、デザートともに豊富に揃い、くつろぎの時間を過ごせる。

クキコミ
情報
ケーキドリンクを選ぶ“ケーキセット”(950円)がおすすめです。豆からこだわった珈琲は、ロイヤルコペンハーゲンの上質なカップに注がれ、優雅な気分を味わえますよ。

☎0964-52-2050
〒宇城市三角町三角浦1268-1
☎11:00~18:00 休12月31日 675席 回あり
JR三角駅から国道57号線を宇土方面に車で6分



おすすめグッズ
クリアボトル(水筒)
水筒としての使用はもちろん、行動食を入れるのにGOOD! ドライ野菜やナッツなど、潰れず取り出しやすいからとっても便利。



クジラ石
山頂直下の道沿いにある、クジラのような顔をした通称“クジラ石”。また、山頂には大小さまざまな石像がある。



三角西港
明治時代のアンティークな面影が強く残る『三角西港』。明治日本の産業革命遺産として、世界文化遺産の候補として推薦されている。